

クレジット・デリバティブ等の状況アップデート(2008年9月末現在)

前四半期末同様、「クレジット・デリバティブ」ならびに「米国モノラインからの受再」につき、当四半期末の状況をQ&A形式でご報告します。2008年9月末現在の状況は以下のとおりです。

◆「クレジット・デリバティブ」について

Q1：想定元本（2008年9月末現在）の内訳を教えてください。

A1

- ・ 想定元本の総額は5,977億円。うち企業単体リスクの引受が1,738億円。CDOの引受が4,239億円。
- ・ CDOの想定元本4,239億円のうち、企業CDOに係るものが4,112億円、ABS-CDOに係るものが126億円です。
- ・ なお、ABS-CDOの想定元本126億円の中に米国サブプライムを一部含むものがありますが、実質的なエクスポージャーはゼロであります（決算短信20ページご参照）。

Q2：格付け別の残高構成を教えてください。

A2

- ・ 企業単体リスクの引受に関しては下表のとおり。A格以上の企業がポートフォリオの96%を占めております。
- ・ また、CDOの4,239億円に関しては、98%がAAA格以上を維持しております。

(億円)

格付け	引受残高(構成比)					
			国内企業		海外企業	
AAA格	92	(5.3%)	41	(3.2%)	51	(11.5%)
AA格	1,017	(58.5%)	796	(61.8%)	220	(49.1%)
A格	567	(32.6%)	432	(33.5%)	135	(30.1%)
BBB格	61	(3.5%)	20	(1.6%)	41	(9.2%)
BB格以下	-	(-)	-	(-)	-	(-)
合計	1,738	(100%)	1,289	(100%)	449	(100%)

Q 3 : 08 年度第 2 四半期 (中間期) におけるクレジット・デリバティブの評価損益は?

A 3

- ・ 08 年度第 2 四半期 (中間期) は、クレジット・デリバティブ評価益 60 億円 (企業 CDO 59 億円、ABS-CDO 1 億円) を計上しました。
- ・ なお、当中間期から、クレジット・デリバティブの時価評価に関して自社モデルの適用範囲を拡大しました。

◆ 「米国モノラインからの受再」について

Q 1 : 保証残高 (2008 年 9 月末現在) の内訳を教えてください。

A 1

- ・ 保証残高の総額は 7,105 億円。うちパブリックファイナンスに係る残高が 4,487 億円。ストラクチャードファイナンスに係る残高が 2,617 億円です。
- ・ ストラクチャードファイナンスに係る残高 2,617 億円のうち、RMBS に係るものが 459 億円、CDO に係るものが 392 億円、その他 ABS に係るものが 1,765 億円です。
- ・ なお、RMBS ならびに CDO の中に米国サブプライムを一部含むものがありますが、実質的なエクスポージャーは 18 億円であります (決算短信 20 ページご参照)。

Q 2 : 格付け別の残高構成を教えてください。

A 2

- ・ 下表のとおり、A 格以上が 74%、B B B 格以上が 96%と、良好なレベルを維持しております。

(億円)

格付け	引受残高(構成比)	
A A A 格	999	(14.1%)
A A 格	1,747	(24.6%)
A 格	2,502	(35.2%)
B B B 格	1,580	(22.2%)
B B 格以下	275	(3.9%)
合計	7,105	(100%)

Q 3 : 元受モノライン自身の格下げが、貴社の受再ポートフォリオに影響を及ぼすことはないのか？

A 3

- ・ 当社が受再で引き受けているリスクは元受モノライン自体の信用リスクではなく、元受モノラインが保証している地方債やABSなど（原債権）の信用リスクです。
- ・ したがって、元受モノラインの格付低下により、当社が受再を通じて引き受けているリスクの内容やクオリティが影響を受けることはありません。
- ・ なお、金融サービス事業に係る受再は、再保険特約等を通じ米国モノラインから原債権の信用リスクの一部を引き受けるものですが、引受ポートフォリオが当社の引受ポリシーを反映したものになるよう条件設定をしております。

<ご参考>なお、米国モノラインに対する与信（2008年9月末現在）としては、以下のものがあります。

- ・ モノラインを単独の参照企業とするクレジット・デリバティブ（想定元本31億円）。
- ・ このほか、モノライン保証債に関する保証・引受等が113億円、モノライン保証債への投資が132億円。（これらについて当社側に支払責任（または実現損）が発生するのは、「原債券」と「当該債券を保証しているモノライン」の両方がデフォルトした場合に限られます。）

Q 4 : 「米国モノラインからの受再」に関して2008年度第2四半期（中間期）に発生したロスの金額は？

A 4

- ・ 17億円です。

以上